

## 『心の渇きに気づかされて』 ヨハネの福音書 4章3～26節 2017.2.5(聖日礼拝説教より)

『この水を飲む者はだれでも、また渇きます。しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渇くことはありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。』 ヨハネの福音書4:13～14

主は、『あなたがたを友と呼ぶ(ヨハネ 15:15)』と言われた！ サマリヤの女も、イエス様の友とされた一人！

❶ **出会いにおける神の必然**…『(主は)サマリヤを通して行かなければならなかった(4節)』。神のなさることに偶然はない！ 主は、人生に悩み渇いていたこの女性に会うために、わざわざサマリヤを通られた！ 世の人にとっては全てが偶然で全ての出来事に意味や目的があるとは思えない！ 災害、病、障害、テロ…なぜ？ どうして？ に人は答えられない！ しかし、神の必然(意志・計画・目的)を信じる人は、その答えをお持ちの方に渇いて本気で求めて必ず答えを聞く！ その答えを得た時、「なんで？」の先にあるものを知り、納得し、喜び、輝き人生を全うする(故重平夫妻のように)！ その女性は『わたしが与える水は、永遠の命への水が湧き出る(14 節)』と聞いて叫ぶ！ 『主よ、私が渇くことがないように、その水をください(15 節)』。主は見事に、その女性の渇き求める心と呼び覚まされた！

❷ **渇くことのない「生ける水」への気づき**…主は一気に問題の核心へと迫る「あなたの夫を連れてきなさい(16 節)(あなたはバツ5で現在同棲中)」と告げ、この世で誰(何)と向き合っているのかと問う！ この世には2つの関係がある！ 『私とあなた』と『私とそれ』(M.ブーバーの発見)。「私とそれ」は、自分にとって価値あるものを愛し、価値なしと思えば捨てて交換する(⇒モノ同然に)！ その関係の中で心の渇きが癒されることはない！ 主は、本物の愛に渇く彼女に『わたしがあなたを潤す』と迫る！ 『私とあなた』の関係は、捨てても交換もしない！ 「モノ」ではないから！ 本物の愛は、かつての魅力を失っても、なお変わらず、見捨てず、関わり、大切に、高め合っていく！

❸ **自分のすべてを知っておられる方との出会い**…彼女は、自分の水がめを置いて町へ行き叫んだ！ 『来て、見てください。わたしのことを何もかも知っている人に出会った(29 節・柳生訳)』。彼女は生まれて初めて自分が理解され、わかってもらった驚きと喜び、感動に満たされた！ イエス様は今日も「わたしのもとに来なさい」、「わたしの言葉にとどまりなさい／わたしの愛の中にとどまりなさい(ヨハネ 15:7,9)」と私たち一人ひとりを招かれる！

★あなたは、自分の心の渇きを知っているだろうか？ その渇きは、あなたの何もかもを知られる主が潤され、その主と出会う時、あなたの「何故？」は解消されて癒され、今度はあなたが、渇いている誰かを潤す者とされる！